

早起きの街づくり

早起きの町づくり

ぼくの考えた企画は電話で早起き大作戦というものです。なぜこの企画にしたかという
と、ぼくは早起きが苦手な学校に来るのがい
つもギリギリだからです。特に鹿児島の方
ないなかは東京などの都会と比べるとぼくと
同じように早起きが苦手な人がたくさんいる
と思ったからです。

具体的には、数人でグループをつくり平日
の朝にグループの人に電話をするというもので
です。グループの中にはできれば男女が大人
などもあるとよくゆめます。さらに年に一度大会
を開き5人のチームで5分間以上電話をし、
一周する速さをきそうという大会です。

それから鹿児島の人々はゆっくりに起きると
いうことでゆっくりにちなんで何でもゆっく
りに行なう大会を開きます。よく何かを行って
その速さをきそうというものはありますが、
その逆に何でもゆっくりに行ってそのゆっくりに

さをきそうというものです。

たとえば自転車をこぐのをゆっくりに
だりどんどんかたくなっていくもちをゆっく
り食べたり習字をや、くり書いたりするとい
うものです。

この企画の効果は、朝に電話をかけないとい
けないので自然と早起きになります。それ
から大人や男女をまねることによって大人や男女と
の交流が増えて町の人たちがとてもなにかよ
くなると思います。それからなんでもゆっくりに
大会を行うことで大会を見にきた観行客が集
まり鹿見島中が盛り上がると思います。それ
以外の視点から考えると、ゆっくりに自転車を
こぐと、見ている人も教技をやっている人も
楽しい気持ちになります。ふつう速さをきそ
う大会では、気持ちがあせたり、失敗した
り、速い人がほめられます。失敗した人は、
自信をなくして、マイナスな気持ちになりま
す。ゆっくりにすぎた失敗したとしても、腹を
かかえて笑うことができます。するとプラス

な気持ちになることができます。また次もやりたい気持ちになっていきます。これまで、朝起きれなくて、自分はダメな人間だと思っていた人も、「自分、人を笑顔にすることができた」と自信を持てるようになります。

この二つの提案が実現することで鹿児島は自分がこまっていることをみんなの力で解決できる住みやすい町になると思います。

これからぼくは、自分のながんでいることは自分一人でなやまずできるだけ多くの人に相談して解決したいと思います。さらに、自分のなやみを相談するだけでなくながんでいる人がいたら積極的に相談にのってあげたいと思います。

